

第42条(異議の申立て等の禁止) 警告の対象、対応の仕方

1. プレーヤーはプレーの進行および判定に関し、アンパイヤーに対して異議を申し立て、又は結果を不服として故意にプレーを中断してはならない。
2. 前項の規定は、プレーヤーがアンパイヤーに対して質問をすることを妨げるものではない。ただし、質問に対する結果については、前項の規定を適用する。

[解説16]

1. プレーヤー(監督又はコーチを含む)が異議の申立てを利用して、マッチの流れを変えようとする~~ことも~~ 禁止するものである。
2. プレーヤー(監督又はコーチを含む)が打球の落下点を確認するため、ネットおよびネットの仮想延長を超えてはならない。また、自陣の前であっても落下点に近寄ってはならない。
3. 再判定をする前にプレーヤー(監督又はコーチを含む)が打球の落下点の痕跡を消すことを禁止する。

もしプレーヤー(監督又はコーチを含む)自身が消した場合はインターフェアとみなし失ポイントとする。

4. 質問又は提訴は個人戦のときはプレーヤー(**ダブルスの場合は1名**)、団体戦のときは監督(コーチを含む)又はそのプレーヤー(**ダブルスの場合は1名**)のいずれかがアンパイヤーに申し立てることが出来る。ただし、ポイントの判定についてはそのポイントに限る。
5. 質問に対しては、アンパイヤーは審判規則第14条により判定する。

2022年度 競技規則 改訂点

第 4 6 条(ヒートルール) 「コート内→テニスコート内」、最初の1 分間

会場での気温(乾球温度)が35℃以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間のテニスコート内の日傘による日陰(アンパイヤーの目の届く範囲)での休憩を許可する。なお、3分間については、第17条(2)の1分間を含むものとする。

(1) 団体戦の場合、1 分間は助言を受けることができるが、残りの2分間については助言を受けることはできない。

(2) 気温の測定にあたっては、大会責任者等がコートサイドの風通しの良い場所を決定し、1時間～2時間の間隔で実施する。

(3) 会場での正確な気温が測れない場合は、環境省が提供する「暑さ指数(WBGT)予測値等電子情報サービス」の会場地に最も近い地点でのWBGT値を参考とする。

2021年度改定・追加

第 11条(照度):追加

テニスコートにおける照度は、コート面から1mの高さで原則500ルクス以上とする。

第 12条(インドアにおける天井の高さ):追加

インドアにおけるテニスコートの天井の高さは、原則、ネットの真上で9.14m以上、コート後方の壁面で4.87m以上とする。

第 13条(審判台) :改定 **原則60cm**

審判台の座席の高さは1.50mを標準としネットポストから審判台の最も近い部分の水平距離で原則60cmのところに置くものとする。